

クリーンセンターと 処理センターで働く人の やさしさ新聞



萬歳小学校 瀧口蒼太

えんとつから出ているけむりは、自然にやさしい



クリーンセンターは、ごみをもやす所です。ごみをもやしたら、有どくガスと灰が出ます。だから、クリーンセンターでは、有どくガスに、薬をつけて、きれいなガスにしています。その後、きれいなガスは、えんとつから出しています。灰は、バグフィルターという所でなくしています。バグフィルターとは、そうじ機のフィルターと同じ働きをする物です。だから、えんとつから灰は、出ません。つまり、クリーンセンターのえんとつから出ているけむりは、自然や人にやさしいです。

もやいたら
出る細かい
灰 →



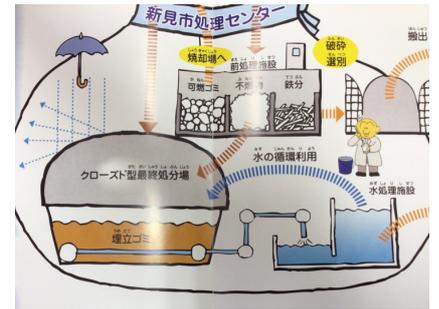
クリーンセンターのまわりはくさくない

集められたもえるごみは、クリーンセンターのごみピットに、入れられます。そこは、ごみがたくさん入っていてとてもくさいです。だから、エアカーテンという風を出す機械をつけて、においを出さないようにしています。また、ごみピットのとびらは、用事があるときにしか開けません。すると、クリーンセンターの外ににおいが出ないので、まわりは、においがしません。このおかげで、近所の人安心して過ごしていると思います。



クリーンセンターと処理センターは 自然や地球を守っている

ごみを処理するときたない水が出ます。その水を外に出すと、山や川がよごれます。だから、クリーンセンターのごみピットから出るきたない水は、ごみをもやす所でじょう発させています。それに、工場内に出てくる水は、薬品処理をして再利用しています。また、処理センターには、水処理しせつがあり、クリーンセンターと同じように、きたない水を再利用しています。



灰
↓
キレート剤でかためる
↓
処理センターに持って行く

クリーンセンターでは、バグフィルターで集めた灰にキレート剤という薬をまぜてかためています。もし、そのまま灰を処理センターの最終処分場に持って行ってうめると、有害な成分がとけて、山や川がよごれるかもしれません。しかし、キレート剤という薬をつけて灰をかためてうめると、有害な成分がとけるのを防ぐことができます。だから、クリーンセンターでは、灰をキレート剤でかためて最終処分場に持って行っていきます。

このように、クリーンセンターと処理センターは、自然を守る工夫をしています。

まとめ 感想

クリーンセンターと処理センターは、工夫して有どくガスをきれいなガスにしていたり、きたない水を再利用して外に出さないようにしたりしていて、やさしいなと思いました。みんなにやさしいだけではなくて、自然にもやさしいので地球を守っていると思いました。ぼくも、包そうをこことわったり、リサイクルをしたりするなど自然にやさしい活動をしたいです。